

2. 5月3日 憲法記念日に 平和憲法と立憲主義

憲法改正論が日増しに高まり、「平和憲法」が葬り去られようとしている。

現自民党政権の理念も何もない憲法改正への横暴ぶりは目に余る。

憲法改正が思いどおりに行かぬと見るや、今度は大学授業料の無償化を憲法の条文に織り込むという。

金でほったたをたたき現政権のやり方そのもの。現政権の何が何でも憲法改正するという横暴振りが露骨に見える。

一般人に迎合しつつ、義務教育と高等教育・大学教育の違いをおおい隠し、大学支配をも強めることができる現政権にとっては一石二鳥の策とみえる。一見公平に見えるが、格差を是正せず一律の無料化はさらに格差を助長する。

口では「立憲主義」「積極的平和主義」というが、その実 中身は完全に蔑ろ。最近の政治の実態を見れば明白。

そもそも「積極的平和主義」などというものもおかしな日本語。 平和主義にそんなものはないのである。

現行の平和憲法は立憲主義をとっているが、立憲主義とは権力の行使を憲法で縛る、コントロールすること。すなわち、立憲主義とは、国家権力を憲法で縛るシステムのこと。個人の基本的な権利が保障され、個人の権利自由が侵害されないために、この立憲主義のシステム「法の支配」が確立されているのである。

現政権の政治の姿勢は 立憲主義を大切にしていると見えるであろうか……。まったく破廉恥極まりなし。

ほかの人の目を通さずに 自分の目で現政権が改正しようとする条文案を読めば、その意図がはっきりする。

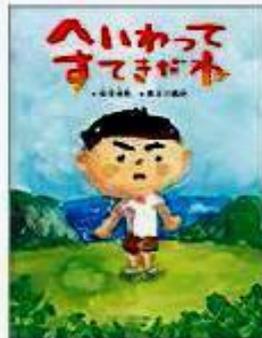
今日増しに日本が攻撃を受けるという戦争の危機が迫っているが、これとても米トランプ政権と運命共同体をしゃにむに推し進める現政権が作り出したものと言えなくもない。

人類が幾多の絶滅の危機を乗り越え、現在の繁栄を勝ち得たのは唯一「利他を思いやる心」にあったことを歴史が示していることを忘れてはならない。 戦は戦を呼び、ついには絶滅していった歴史は死屍累々である。

一万年も平和で豊かな生活が続いた世界に類のない日本の「縄文」社会。そのエンジンは「他人を思いやる心」日本人の心の故郷 縄文である。

また、縄文までさかのぼらなくても「戦後70年 平和憲法の下で日本は繁栄を築き上げた」燦然と輝く事実である。

現政権・憲法改正推進者たちは、今なぜこんなに火急に平和憲法をかえねばならぬのだろうか??



へいわって なにかな。ぼくは、かんがえたよ。ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎのんびりあるいてる。ちょうめいそうがたくさんはえ、よなくにうまが、ヒヒーンとなく。みんなのころから、へいわがうまれるんだね。これからも、ずっとへいわがつづくように、ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義史/画

安里有生/詩 「へいわって すてきだね」全文
2013.6.23. 沖縄全戦没者追悼式で 1年生の安里有生君が朗読

へいわって なにかな。
ぼくは、かんがえたよ。
おともだちとなかよし。
かそくが、げんき。
えがおであそぶ。
ねこがわらう。
おなかがいっぱい。
やぎのんびりあるいてる。
けんかしてもすくなくなおひ。
ちょうめいそうがたくさんはえ、
よなくにうまが、ヒヒーンとなく。
みなには、フェリーがとまっていて、
うみには、かめやかじきがおよいでる。
やさしいころがにじになる。
へいわっていいね。へいわってうれしいね。
みんなのころから、
へいわがうまれるんだね。

せんそうは、おそろしい
「ドドーン、ドカーン。」
ばくだんがおちてくるこわいおと。
おなかがすいて、くるしむことも。
かそくがしんでしまっ て なくひとたち。

ああ、ぼくは、へいわなときにうまれてよかったよ。
このへいわが、ずっとつづいてほしい。
みんなのえがおがずっと、つづいてほしい。

へいわなかそく、
へいわながっこう、
へいわなよなくにじま、
へいわなおきなわ、
へいわなせかい、
へいわってすてきだね。

これからも、ずっとへいわがつづくように
ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

一般人・市民として 自分の目で見て確かめることが 本当に必要になっている。小学生安里有生さんが、沖縄平和式典で朗読した自作の詩「へいわってすてきだね」の朗読が、今も心に強く響く。

平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう
国の大きな転換点 今 声を上げねば !!
平和を今 自分の頭で考えよう!!

戦後70年を生きてきた一人として、
年寄りのたわごとと言われようと
若い人たちに伝えねばと。

2017.5.3. 憲法記念日に

by Mutsu Nakanishi